

# 語いと英語教育(9)

「英語基本語い1000語」と  
「補足460語・外来語・英語400語」

「外来語と英語教育(9)」  
言葉遊びをとり入れての指導実践例

1986年2月

本研究に携わった研究員

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 森永 誠   | 石津谷 進 | 安原 修三 |
| 長 勝彦   | 後関 正明 | 青木 弘子 |
| 備里川 正人 | 田中 義則 | 鬼山由美子 |
| 原田 博子  |       |       |

目 次

「英語基本語い1000語」と「補足460語・外来語・英語400語」  
-Interim Report-

|   |     |
|---|-----|
| 1. 「基本語い」への過程としての「選定語いサービス・リスト」               | 113 |
| 2. 「基本語い」の基準としての「みだし語」 - みだし語の基準              | 113 |
| 3. 「基本語い1000語」 - 「発表語い」へむけての基準                |     |
| 4. 「基本語い1000語」の構成                             | 113 |
| 5. 「補足460語」による「1460語のリスト」の構成                  | 114 |
| 6. 「外来語400語」のリストの構成・その他                       | 114 |
| 7. リストのよみかた                                   | 115 |
| 8. 「英語基本語い1000語」と「補足460語・外来語・英語400語」<br>- リスト | 115 |

「外来語と英語教育(9)」 - 言葉遊びをとり入れての指導実践例

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| はじめに                             | 116 |
| 1. 中学校最初の英語授業                    | 116 |
| 2. 授業の中にことば遊びをとり入れて              | 117 |
| (1) 4月に行うカルタ遊び                   |     |
| (2) 5月に行うカルタ遊び                   |     |
| (3) 入門期終了以降高校3年まで楽しめるゲーム：新ビンゴゲーム | 117 |
| (4) 1年1学期後半から楽しめるGuess Work      | 119 |
| おわりに                             |     |
| 付録：ビンゴゲーム、Guess Work をとり入れた授業指導案 | 120 |

目次は発表時のもので、ページの示されていない項目は、このダイジェスト版では省略されています。

今回発表する「英語語い1000語」と「補足460語・外来語・英語400語」は「語いと英語教育」No.6と7「選定語い」をうけたレポートでもある。「外来語と英語教育」の研究をはじめてから、今回で9回目、これも組みこんだ継続研究9年目のレポートである。「基本語い1000語」という主題は、やゝ重荷であったが、Interim Reportとして報告することにした。

の「外来語と英語教育(9)」-言葉遊びをとり入れての指導実践例は昭和52年からつづけてきた「外来語」の研究成果の一部を、毎時間の授業の中でどのように取り扱うことができるか、実践方法を具体的にあげ、その成果を示しながら報告することにした。

「英語基本語い1000語」  
「補足460語・外来語・英語400語」  
- Interim Report -

1. 「基本語い」への過程としての「選定語いサービス・リスト」

「語いと英語教育(7)」で発表した「選定語い」は、サービス・リストの性格をもっている。12の「語いリスト」の Range が視覚的にみられるように構成されたリストであった。頻度の分布について、高位の語をえらぶことを可能にしたリストであった。

2年前に「基本語い」を想定したときに、筆者はつぎのようにしている。

しかしながら「基本語い」としては、それだけでは、なにか、かけている。東洋の日本で英語を学習する条件、日常生活基本語および発表語として、最小どういう語がかけられているか、この3つはなんとか組み込みたいものである。その語数がそれくらいになるか。「基本語い」としては、なるべく少数でおさえなければならないが、発表語等上記の3つは無視することはできない問題である。

2. 「基本語い」の基準としての「みだし語」 - みだし語の基準 -

1) 単語のみだし語とする。2語にわかれている合成語・句は、みだし語からはずす。

2) 以下の項目については、下表の基準により「みだし語」をかんがえる。

| ・みだし語               | 千語のなかにあれば、いれる。 | 千語のなかになくてもいれる。 | はずす |
|---------------------|----------------|----------------|-----|
| 1. 同綴異字 (bear熊・耐える) |                |                |     |
|                     |                |                |     |

Rangeとは・・・(語いと英語教育(7)P2より)

それぞれの語いが以下の12の資料リストにどれだけのっているか、そのかさなりをみるものである。(参考)たとえば Range 3とは12のリスト中、3つのリストにのっていることを示し、また Range12とは12のリスト全部に載っていることを示す。

- 以下省略 -

3. 「基本語い1000語」 - 「発表語い」へ向けての基準

- 省略 -

4. 「基本語い1000語」の構成

このリストは、次のような構成になっている。

1) 「語いと英語教育 - 7 - 」の「第二次選定語いリスト」の Range12 ~ Range 6

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| の Semantic Count 2 までの中から  | 965 語 |
| 2) 「みだし語の基準」との関係で、特に助動詞等から | 13 語  |
| 3) 「みだし語の基準」の地域の特徴から       | 15 語  |
| 4) 主観的な視点から、日常生活等から        | 7 語   |

以上、日本という地理的、文化的特徴も含みこんだ発表語いとして今回は、「基本語い1000語」を Interim Report とすることとした。

5. 「補足460語」による「1460語のリスト」の構成

このリストは、「基本語い1000語」を補足するものとして、「語いと英語教育(7)」の「第二次選定語いリスト」から以下の語を追加して、参考資料とした。

1) 基本語い1000語からはずされた seem<sup>1.1-2</sup>, autumn<sup>6-1</sup> の他, ought<sup>6-2</sup>, 他 6-2 の10語および, Range<sup>6-3</sup> から Range<sup>4</sup> まで全部の452語。

2) Range 3 から次の7語と固有名詞1語。

eleven<sup>3-1</sup>, grandmother<sup>3-1</sup>, airport<sup>3-2</sup>, dictionary<sup>3-2</sup>, library<sup>3-2</sup>, Nippon<sup>0-0</sup>, postcard<sup>3-2</sup>, useful<sup>3-3</sup>

「基本語い1000語」と「1460語」のリストと、両者とも Interim Report である。

6. 「外来語400語」のリストの構成・その他

1) 「基本語い1000語」および「補足460語」にも外来語がふくまれている。外来語であることは、語の後に (S), (O), (D) のように表記してある。

例 egg (S) S は Same で、意味がだいたい同じことを示す。

bar (O) O は Overlap。bar を「酒場」と理解しているなら、ほんの一部、意味が重なっているにすぎない。

training pants (D)

D は Different。トレパンとちがって、training pants は、幼児がおむつをとる時期、排便のしつけにつかう。

macaroni Western (N)

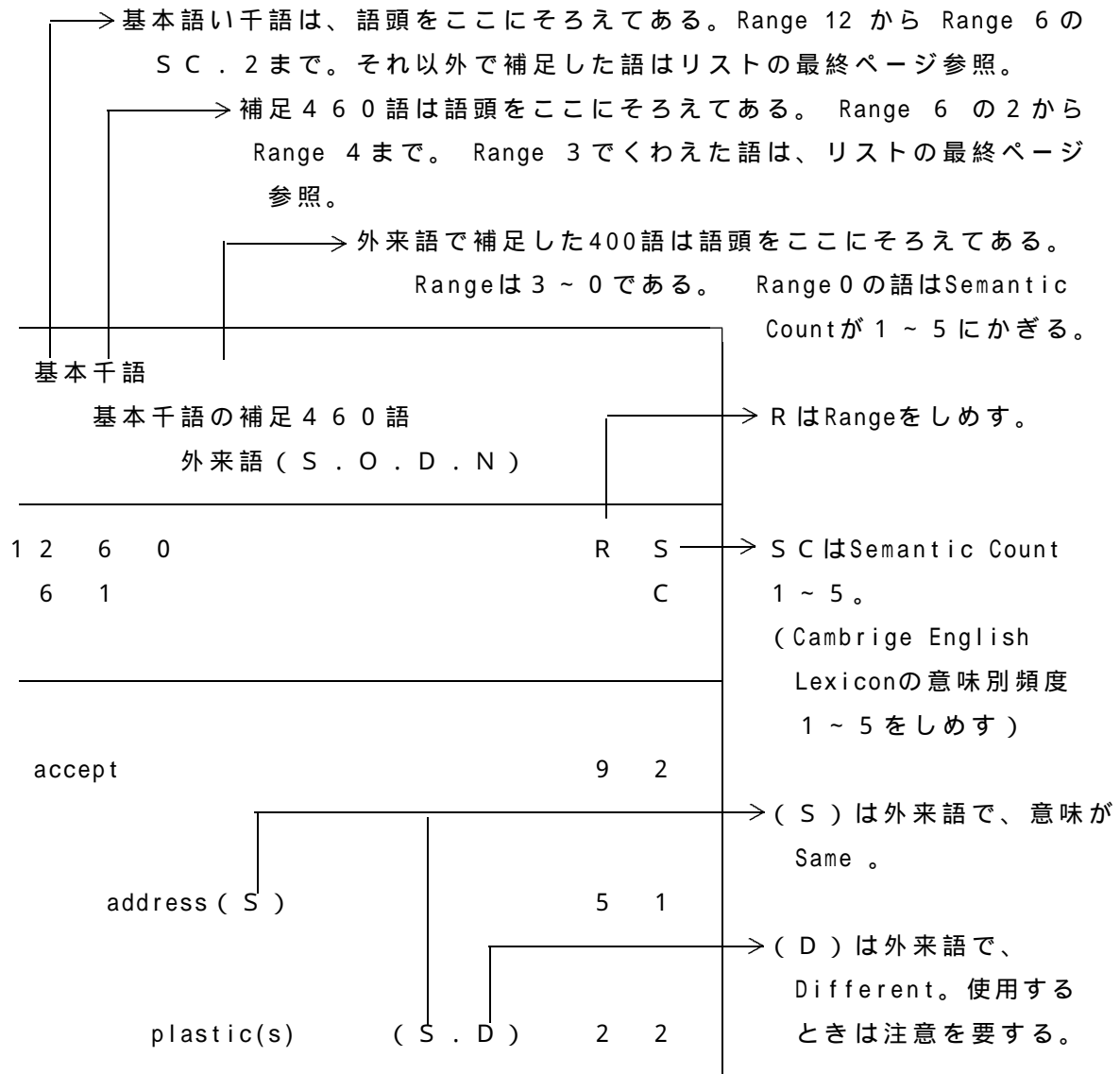
N は Nothing。アメリカでは spaghetti Western という。

以上のような表記がされていれば便利であるが、今回のリストでは、ほとんど (S = Same) だけをしめすこととなった。

2) 「補足外来語400語」は、Range<sup>3-1</sup> および Range<sup>0</sup> のばあい Semantic count が1から5の語に限った。Range<sup>0</sup>, Semantic count<sup>0</sup> の外来語は、初学者のレベルで数百語、整理できよう。以下に、その例の一部を示すこととする。これらの語はリストの本体に組みこむこともできるが、今回は除いた。

- 以下省略 -

7. リストのよみかた



8. 「英語基本語い1000語」と「補足460語・外来語・英語400語

| 基本千語<br>基本千語 + 460語<br>外来語 (S.O.D.N) |    |   | 基本千語<br>基本千語 + 460語<br>外来語 (S.O.D.N) |    |   | 基本千語<br>基本千語 + 460語<br>外来語 (S.O.D.N) |    |   |
|--------------------------------------|----|---|--------------------------------------|----|---|--------------------------------------|----|---|
| 12・6 3                               | R  | S | 12・6 3                               | R  | S | 12・6 3                               | R  | S |
| ・6 4 0                               |    | C | ・6 4 0                               |    | C | ・6 4 0                               |    | C |
| { A }                                |    |   | against                              | 11 | 2 | anger                                | 5  | 4 |
| a                                    | 12 | 1 | age                                  | 9  | 1 | angle                                | 5  | 5 |
| ability                              | 5  | 5 | ago                                  | 10 | 2 | angry                                | 9  | 1 |
| able                                 | 11 | 2 | agree                                | 9  | 2 | animal(s)                            | 11 | 1 |

外来語と英語教育 (9)  
言葉遊びをとり入れての指導実践例

はじめに

- 一部省略 -

東京都中学校英語教育研究会研究部は、昭和53年、「外来語と英語教育(1)」で「小学校高学年用教科書に表れた外来語リスト」に約950語を採集し、そのうち、英語からきた語が約720語あることを報告した。また、昭和54年、「外来語と英語教育(2)」で、中学校英語教科書(5社)の語い数約2300語のうち、外来語として、英語未習の小学校6年生に、すでに意味が理解されていると判断できる語が、約520語あることも報告し、語いの意味については、英語未習者でも、かなりの習熟度が認められた。昭和55年、「外来語と英語教育(3)」では、外来語(カタカナ語)の発音に関して、昭和56年、「外来語と英語教育(4)」では、外来語(英語)の意味に関して、昭和57年、「外来語と英語教育(5)」では、外来語(英語)の音と表記の関連・フォニックスに関して調査・研究し、フォニックスのルールを整理し、日本の英語初学習者が学習しやすいグレーディングをほどこし、初学習者に有効な外来語語いリストの一部を準備した。また、昭和58年、「外来語と英語教育(6)」、昭和59年、「外来語と英語教育(7)」で、さらに、フォニックスのルールと昭和57年度より始めた「選定語い」との関連の研究により、昭和60年2月、「外来語と英語教育(8)」で、過去8年間の外来語の研究結果の一つとして、フォニックス(発音とつづりの規則性)を組み込んだ次のような<外来語(英語)サービスカード>を発表した。

| 外来語                  | サービス・カード | Index                      |
|----------------------|----------|----------------------------|
| 1) 気候・季節・自然・天体       |          | 21) テレビ・オーディオ・コンピューター・カメラ等 |
| 2) いろいろな人の名称(職業をのぞく) |          | 22) 交通(車・船・飛行機等)関連・道路等     |
| 3) 職業                |          | 23) 建造物                    |
| 4) 動詞(～する)           |          | 24) 家・部屋・設備等               |
| 5) 形容詞(色)            |          | 25) 家にある道具                 |
| 6) 形容詞(色以外)          |          | 26) 紳士服・婦人服・服・下着・靴・帽子等     |
| 7) あいさつ・マナー          |          |                            |
| 8) 人間の身体の名称・形・病名・薬   |          |                            |
| 9) 教室・そのなかにある物       |          |                            |

1. 中学校最初の英語授業で

中学校一年生、最初の英語の授業の中で、生徒が知っている外来語をできるだけ沢山書かせてみた。一番多く書いた生徒で、192語、少ない生徒で36語であった。次の表は、比較的良好に書いたものである。

19. ワッペン 33. イラスト 47. エネルギー 55. オートバイ 61. マーガリン  
70. テンプラ 71. オルゴール 83. テレビ 90. カルタ 以上9語は、変形して different の項に入る英語、または、英語からきた外来語ではない。従って次の表の中の8

5語の中の76語が英語からの外来語となる。

今日から外国語(英語)の勉強がはじまります。がんばりましょう。日本語の中には沢山の外国からきた言葉が使われています。たとえば、ラジオ・バス・ピンク・テニス・ギターなどは君たちよく知っている言葉ですね。これらの言葉は全部英語から日本語になったものです。外来語ともいいます。あなたはどれぐらいの外来語を知っていますか。できるだけ沢山書いてみましょう。

- |         |           |             |           |           |
|---------|-----------|-------------|-----------|-----------|
| 1 . ラジオ | 6 . グラス   | 11 . クラリネット | 16 . コーヒー | 21 . ゴール  |
| 2 . バス  | 7 . グラフ   | 12 . グランド   | 17 . トップ  | 22 . アンテナ |
| 3 . ピンク | 8 . クラシック | 13 . ピアノ    | 18 . レンズ  |           |
| 4 . テニス | 9 . クラブ   | 14 . カバー    | 19 . ワッペン |           |
| 5 . ギター | 10 . グラム  | 15 . カフェイン  | 20 . アンカー |           |

## 2 . 授業の中にことば遊びを取り入れて

外国語を学習するものにとって、その言語の語いを増そうとする努力は、避けて通ることはできない。しかし、語いを増すには、強い学習意欲と継続的な学習が必要である。9年間にわたって外来語の研究を積み重ねてきた東京都中学校英語研究会研究部の成果の一部を利用し、気軽に、しかも、楽しみながら語いを増す授業実践例を紹介する。

### (1) 4月に行うカルタ遊び - 入門期 (1)

従来の英語カルタは、絵の代わりにアルファベットを書いたものや、単に名詞1語に相当する絵のカルタ、また、単文の英語のものがほとんどだった。ここで使用されるカルタは、少々、カルタに工夫を凝らし、入門期の生徒にとって、ゲームの複雑さと面白さを加味したものとした。

#### a . 英語カルタの作り方 (1)

- 省略 -

#### b . 英語カルタの遊び方 (1)

- 以下省略 -

### (3) 入門期終了以降高校3年生まで楽しめるゲーム：新ビンゴ

ビンゴゲームは室内ゲームの一種である。タテ・ヨコ各5列の24のます目(中央のます目は除く)に1~75の異なる数字を記入したカードを参加者に渡し、ボールや矢で数字を選び、その数字がカードにあればその数字を消してゆく。タテ・ヨコ・ナナメのいずれか1列を一番早く消した者が勝ちとなるゲームである。このゲームのやり方を少し改め、英語の語いをふやし、定着させるための新bingoゲームを考案し、授業の中に常時とり入れ実践してみた。

(a) 新 bingo ゲームの用紙の作り方と記入の仕方

タイトルを、Let's enjoy "Bingo"として、次のようなB5版の用紙を作った。

図12の表の中のFREEは「オマケ」を意味する。Dateのところにはゲームを行う日の日付を英語で書かせることにする。

例えば、2月18日(火)に行うとすれば、Tuesday, February 18 と書かせることによって、月名と曜日名も覚えさせてしまう。表の下のB・I・N・G・Oの欄には、既習語または、外来語を英語または日本語で、それぞれ、8語～10語ぐらい提示する。

図13のBingoの語群表 No.21のBは、既習の数字である。Iは既習の動詞で、繰り返し、書かせることによって、hearing, writing の定着を図っている。N・G・Oの語群は、外来語サービス・カードを利用し、教科書の語いを加えている。

No.22の語群は、B - 前課で学習した語、I・N・G - 外来語サービス・カードより。Gの色を表す形容詞はNo.21でも取り扱った語である。O - 既習の動詞である。このように、意図的に反復させることによって、語いを自分のものにさせてゆく。

No.25の語群は、B - 前課で学習した語。I - 既習の動詞、No.21. 22. 24.でもだされている。N・G・O - 外来語サービス・カードより。Nの色を表す形容

詞は、No.21. 22 にでており、Gの野球以外の球技は、No.23. 24 にでている。

(b) 新Bingoゲームのやり方

生徒は、ゲームの用紙(図12)にそれぞれの語群より単語を書き入れ、色鉛筆を持って、ゲームの開始を待つ。教師は、生徒が準備完了したのを確認してから、B study study I Rugby Rugby N beautiful beautiful G holiday holiday O third third B know know I softball softball.....と、下の表の語群より、思いつくままに、ペンで単語を消しながら(同じ単語を2度読み上げるのを防ぐため)、2回ずつ単語を読み上げてゆく。時には、B「働く」「働く」I「バトミントン」「バトミントン」N「小さい」「小さい」G「水曜日」「水曜日」O「第二番目」「第二番目」...と、日本語で言ってもよい。生徒は、教師の読み上げた単語がその欄に記入してあれば、その単語を で囲む。Bingoの用紙のタテ、ヨコ、斜めに5個のOのストレートが5本できたら、“Bingo”と大きな声で叫ぶように指示しておく。最初の“Bingo”の声でゲームは中断することなく、さらに、N long long O fifth fifth.....と、適当なところまで続けてゲームを終了する。“Today's Bingo”と言って、“Bingo”と叫んだ生徒に挙手させて、5個のOのストレート

が5本できた生徒を確認する。それから、最初に“Bingo”と言った生徒の用紙を点検して、教室に掲示してある図14の表に日付け、その生徒の名前と、トップになった回数を記入してBingoゲームは完了する。次回行うBingoの用紙を2枚~3枚配布して、次回の日付け等を記入させる。1~2分たったら記入するのをやめさせ、残りは家で記入し次回に備えさせる。

(c) 新Bingoゲームに対する生徒の反応

(Bingoゲームを始めてから1ヵ月後の生徒の反応)

生徒の次のようなアンケートをとってみた。1. Bingoゲームは面白い。2. どちらともいえない。3. 面白くない。(調査対象: 1年1クラス 41名)

[アンケート結果]

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| 1. Bingoゲームは面白い ..... | 35名 |
| 2. どちらともいえない .....    | 6名  |
| 3. 面白くない .....        | 0名  |

- 以下省略 -

(4) 一年一学期後半から楽しめるGuess Work (マトリョーシカを用いて)  
箱や袋の中に品物を入れておき、その中に何が入っているかを英語で質問し

てあてるゲームは、よく授業の中で行われる。ここで使われる文型は次のものである。

- (1) Do you have a ~ in the box ?
- (2) Do you have any ~ s in the box ?
- (3) Is there a ~ in the box ?

- 省略 -

この Guess Work を 1 年 2 学期の 9 月より毎時間、「Three-minute-questions」と称して、ストップウォッチを片手に行っている。以下、一年生の授業の中で行われた Guess Work である。

- 以下省略 -

付録：ビンゴゲーム、Guess Work (Three-minutes-questions) をとり入れた授業指導案

#### 両国中学校校内授業研究英語科指導案

授業者 長 勝彦

- 1 . 日 時：昭和60年10月9日(水) 第5校時 (1:30 - 2:30)
- 2 . 対 象：1年5組(男子25名・女子19名・計44名)
- 3 . 教科書：New Crown English Series 1 Lesson 8 「文字」
- 4 . 本課の新出基本文型・文法事項：
  - (1) These are blocks . Those are letters . 名詞・代名詞の複数形
  - (2) Read this word . 命令文  
Let's で始まり「~しましょう」と相手を誘う言い方。
  - (3) What do you have in your hands ?  
How many cards do you have ?
- 5 時間配当：1 時限 …… Section 1 (名詞・代名詞の複数形 )
  - 2 時限 …… Section 2 (命令文・Let's ~ の文)
  - 3 時限 …… Section 3 (What で始まる疑問文  
How many で始まる疑問文)
  - 4 時限 …… まとめの練習(文のしくみ・練習問題)
- 6 . 本字の目標：
  - 既習の文系 Do you have ~ ? を用いて言語活動を行わせる。
  - What do you have ~ + 場所を示す副詞句 ? の文を理解させる。
  - How many + 名詞の複数形 ~ ? の文を理解させる。
- 7 . 教材・教具：教科書・フラッシュカード(単語カード)・センテンスカード(文型カード)・ロシア人形・コイン等小道具

8. 指導過程

評価欄のABC/A良/B普通/C良くない。

| 学習の流れ                | 教師の活動   | 生徒の活動                                     | 評価の観点                        | 評価    |
|----------------------|---|---|------------------------------|-------|
| 1 あいさつ               | あいさつをする                                       | 各自教科書を読むのをやめて、あいさつをする                     | 元気よくあいさつができたか                | A B C |
| 2 言葉あそび<br>BINGO を行う | BINGOの単語を2度ずつ読み上げる                            | 各自が用意している2枚の用紙のうち1枚を選びBINGOゲームを行う         | 生徒ひとりひとりが興味・関心をもってゲームをやっているか | A B C |
| 3 既習語の発音練習を行う        | フラッシュカードを用いて発音練習させる                           | フラッシュカードを見ながら発音練習を行う                      | はっきりした声で発音しているか              | A B C |
| 4 既習教材の読みを行う         | 一文ずつ音読する                                      | 教師のあとについて読む                               | はっきりとした声で読めたか                | A B C |
|                      | 文字から目を離して音読するように指示する                          | 教師の合図で、文字から目を離して音読する                      | 文字から目を離して音読しているか             | A B C |
|                      | 各自の音読学習状態をチェックする                              | 43ページ・44ページを25回以上読んだ生徒は挙手する<br>挙手をして質問をする |                              |       |
| 5 3分間<br>質問          | ロシア人形(マトリョーシカ)を示し、その中に入っているものを英語で質問させながらあてさせる |   | 積極的に質問しているか                  | A B C |
| 6 新教材を英語で導入する        | できるだけやさしい英語で新教材を導入する                          | 英語の内容理解に努める                               | 新教材の内容が理解できたか                | A B C |

|  |                               |                       |                        |       |
|--|-------------------------------|-----------------------|------------------------|-------|
| 7 新出語の発音練習を行う                            | フラッシュカードを用いて発音練習をさせる          | フラッシュカードを見ながら発音練習を行う  | はっきりした声で発音しているか        | A B C |
| 8 本文を音読する                                | 本文を読んで聞かせる                    | 教師の音読をよく聞いて文字と音を結びつける | 文字を追って聞いているか           | A B C |
|  | 一文ずつ音読する                      | 教師のあとについて音読する         | はっきりした声で読めたか           | A B C |
|  | 各自音読するようにと指示し、机間巡視をして個別指導にあたる | 各自音読練習を行う             | 各自意欲的に音読に取り組んでいるか      | A B C |
| 9 内容理解の上で重要な箇所に下線を引かせる                   | 重要箇所を示し下線を引かせる                | 重要箇所に下線を引く            | 指示した箇所に下線が引けたか         | A B C |
|  |                               |                       | 下線を引くことによって内容をより理解できたか | A B C |
| 10 下線部に注意しながら本文を音読する                     | 一文ずつ音読する                      | 内容を理解しながら音読する         | はっきりした声で音読できたか         | A B C |
| 11 一学期に歌ったHow many boys do you see?の歌を歌う | テープを流す                        | 久しぶりの歌だが思い出しながら歌う     | 久しぶりの歌だが楽しく歌えたか        | A B C |
| 12 あいさつ                                  | 気持をこめてあいさつをする                 | あいさつをする               | 気持をこめてあいさつできたか         | A B C |